

# With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

高森荘からの情報発信 ウィズ

vol.43

2020.6/1



TAKAMORI

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: t0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



ある日の高森荘

## 青空朝礼

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、通所利用者様と入所利用者様の生活エリアを分け事業を展開しています。入所利用者様は、居室棟と食堂棟のみでの生活となり制限された日々を送っています。そこで「1日1回は屋外で新鮮な空気を吸おう」と「青空朝礼」を始めました。朝の太陽と初夏のそよ風を浴びて「高森荘体操」と「本日の予定」の発表を行い、さわやかな1日のスタートを切っています。

# 令和元年度 高森荘事業報告

## 1、今年度事業計画(重点事項)の状況について

### (1) 個別支援計画の見直し

・「個別支援計画」を利用するご自身が実感できるS(スマイル)プランと、Sプランを包括するC(ケア)プランに整理する。Sプランは生活支援と医療、栄養ケアマネジメントの各プランで構成し、Cプランには延命の確認項目や各種委員会のリスク評価等も盛り込むことにした。「記録システム」も変更する。

(2) 安全防災の確立と避難警報への対応

- ・台風19号により「警戒レベル3」を初めて経験する。新たなハザードマップでは「浸水想定区域」から除外となる。
- ・「社会福祉施設等整備事業補助金」を活用して「非常用自家発電装置」を設置する。有事における通電が可能となり生活者の安心安全の一助となった。

### 2、運営面(働き方改革、利用状況)について

・「働き方改革」における有給休暇の取得義務化に備

え非常勤職の増員等で職員数を過去最大とした。上半期は入所利用の方の退所や長期入院が相次ぎ、通所利用も就労系事業所への移行等で減員となった。しかし、下半期は利用日数が増加し、短期入所サービスは前年度を上回る実績となった。インフルエンザの町内発生が11月にあり外出等の規制開始、解除した途端に新型コロナウイルスにより再開、生産活動は壊滅的な状況に陥り、通所利用の方限定、時間短縮でしのぐ忍耐の年度末となった。工賃総額も想定外の減収となった。

### 3、昼間実施サービスのあり方について

・生産活動に特化しない方向でサービス提供の場について検討、作業室を分割し生産活動と生活支援や行事、余暇活動の場とする。作業との両立は懸念されたが、複数の支援者による個別支援の場として機能する状況となった。

### 4、松川事業所及び通所送迎

### サービスの課題

・今年度も松川事業所の利用率の改善は見られず、新規利用の方は近隣でも本所を希望される。

・通所は自ら通うが制度上の基本、送迎の事故リスクやマンパワー、ランニングコストについて再検討する。



# 感染症対策委員会

## 感染症対策委員会では、

一年間を通して感染症についての取り組みを行っています。感染症に対する抵抗力が弱い方が、集団で生活している為感染が広まりやすい事を認識しなければなりません。感染症自体を完全になくすることはできないことを踏まえ、感染の被害を最小限にすることが求められます。利用者さんが安心して生活できるように、感染症を予防する体制を整備し、平常時から対策を実施するとともに

発生時に迅速で適切な対応を図ることが必要です。



## 要となります。

今年度は新型コロナウイルスの流行により、今まで以上に情報共有をしながら対策できる事を行っています。利用者、職員共にこの状況が一日でも早く終息することを願っています。



# 令和元年度 苦情解決の結果

①職員の接遇に関するもの	2件
②サービスの質・量に関するもの	1件
③事故、被害、損害に関するもの	0件
④事業所運営等に関するもの	0件
⑤契約内容に関するもの	0件
⑥事業所の建物の構造に関するもの	0件
⑦利用者のトラブルに関するもの	0件
⑧その他(物品に関するもの)	1件
合計	4件

## 防犯訓練

令和2年1月17日、1回目の防犯訓練を行いました。

相模原の知的障害者施設で起きた殺傷事件後から福祉施設での防犯対策が求められるようになり、設備整備は進めてきましたが防犯訓練は初めてでした。

飯田警察署生活安全課へ相談に伺い、初回は、『不審者への対応』と『刺股の使い方』をテーマに訓練を行うことになりました。

不審者への対応は、複数で、出来るだけ距離をとって話を聞き、危ないと思ったら警察に連絡するようにとのことでした。



刺股は相手の体格によっては使えないこと、捕まえるのではなく外へ追い出すつもりで使用すること等教えていただきました。

どちらの訓練も実技を交えて行いましたが、初めてのことであり、戸惑うばかりでした。

今後、繰り返し訓練を行うことで、職員に対する意識とスキルを高めていければと感じています。

刺股は相手の体格によっては使えないこと、捕まえるのではなく外へ追い出すつもりで使用すること等教えていただきました。



## パソコンレク

私たちにとって、とても身近な存在となったインターネット。今、コロナウイルス流行の影響でさらに注目が集まっています。

家にいながら買い物したり、楽しいゲームや動画を見たり、遠くにいる家族とも顔を見ながら会話ができる。そんな便利な機能をすこしでも活

用できるようにするために、

高森荘では昨年度からパソコンレクを行っています。今はボタン一つ押すのにも戸惑ってしまう利用者の皆さんですが、

少しずつ、そして楽しみながら行っていけたらと思います。



## 昼間実施 サービスの検討

「高森荘は、どんな施設ですか」と聞かれたら、「自分のやりたい活動が選択できる施設です」と、胸を張って答えたい。

昼間実施サービスの検討は、多様なライフスタイルの在り方を模索した試みです。これは、利用者に限った事ではありません。職員も同じように、ここでの働き方を見直すきっかけになればと考えています。

未来は、予想できません。過去を変えることも不可能。出来ることは、今、この瞬間の選択肢を自分で考えて決めることだけ。そんな、サービスを作っていきたく、試行錯誤を繰り返しています。

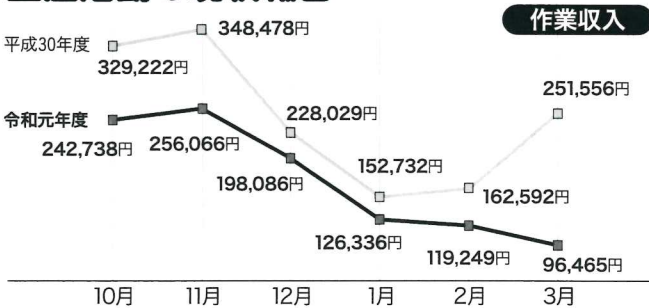


## 生産活動

コロナウイルスの影響により作業量が減少していく等、例年とは異なる下半期でした。

入所の方、通所の方それぞれに作業を控える時期があり、生活リズムの一部である作業時間がなくなること戸惑われる方も多かったと思います。皆さんの動き働くことで支えられている活力を改めて感じた時期でもありました。厳しい環境の中でもその活力を維持していけるよう、工夫していきたいと思えます。

## 生産活動の現状報告 (下半期)～前年度との比較～



# 2019年12月~2020年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



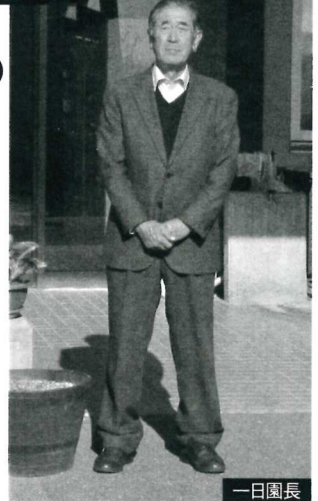
12/5 感染症講習会

12/9 一日園長  
山吹区長 中澤 茂 様

12/18 忘年会

12/25 門松作り

1/17 防犯訓練



一日園長



2/3 節分  
竜口シニアクラブ 7名

2/17・19 水害移送訓練

3/16 春季火災避難訓練

4/1 開園記念日



忘年会



ぐるっとお花見



4/1~9 ぐるっとお花見  
お花見コンサート

節分



春季火災避難訓練

## 編集後記

今年度がスタートし早2ヶ月が経ちました。  
4月、新型コロナウイルスの感染拡大のため全国に緊急事態宣言が発出され、経験したことのないような状況が続きました。  
高森荘でも外出や面会を制限させていただき、また予定されていた行事をやむをえず中止するなどの対応を余儀なくされています。  
先の見えない現状や制限された生活に不安や戸惑いを感じている利用者の方も多いためです。  
利用されている方が安心してサービスを受けられるよう私たちは今できること、やるべきことをしっかりと行い、一日も早く日常が戻ることを願うばかりです。



水害移送訓練